

THE HANDBOOK OF SEA URCHINS

ウニハンドブック

田中 颯・大作晃一・幸塚久典 著



文一総合出版

バサラブンブク (新種)

Heterobrisus niasicus (Döderlein, 1901)

帯線はない
主径は著しく
発達する



TAMBL-EC 14
(原写真 撮影: 田中颯)

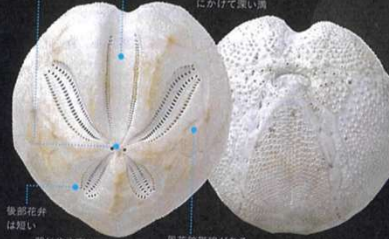
長大かつ頑丈な棘……

ブンブクチャガマ

Ova lacunosus (Linnaeus, 1758)

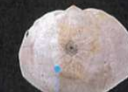
生帯孔は2つ

正面歩帯から腹前部
にかけて深い溝



後部花弁
は短い

周花紋帯線がある



砂泥底に深く潜って生息する。
外敵に襲われにくく安全な一
方で餌が少ない砂泥底の深く

刺・肛帯線がある

不正形類
シシク目・オバシシク科

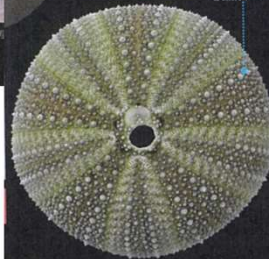
バファンウニ

Hemicentrotus pulcherrimus (A. Agassiz, 1864)

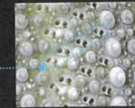
殻は薄緑色～暗緑色

等しい大きさの疣により殻全体
が覆われる。主径は小さく副径
と区別がつかない

生体写真



孔対はやや水平
に4個ずつ配列



転石裏に附着したり、転石下
の砂利に半分ほど埋もれて生
息する。棘付きの形と色が馬
糞(バファン)に見えるためこ
の和名がついた。不名誉な和
名であるが美味とされ食用と
して利用される。

殻径 30mm

産地 日本近海のみ

分布 九州南端から本州北端

水深 潮間帯～水深40m



生体写真(幸塚)

アカウニ

Pseudocentrotus depressus (A. Agassiz, 1864)

殻は淡桃色

歩帯には2列の主径



孔対はやや
水平に6-7
個ずつ配列



転石裏に附着したり、転石下
の砂利に半分ほど埋もれて生
息する。殻の扁平さから昔は
「ヒクタウニ」とも呼ばれてい
た。日本近海にのみ分布する
固有種である。食用とされる。

殻径 60mm

産地 日本近海のみ

分布 九州南端から本州北端

水深 潮間帯～水深50m



生体写真1
緑の色が無色の個体



生体写真2
緑の色が紫色の個体(1,2ともに幸塚)

正形類
カシシク目・オバシシク科

食用

ウニハンドブック

著者 田中颯

大作晃一

幸塚久典

発行所

株式会社文一総合出版